

問26-5

介護等をしている人はどなたですか。

実際に介護等をしている人全員について、同居の場合は【世帯員番号】を、別居の場合は【続柄】、【性別】をお答えください。

※世帯員番号は、3ページ目の上部にある番号です。

		介護等をしている人			
		主に行っている人 (1人目)	2人目	3人目	4人目
同居の場合 (世帯員番号を記入)		世帯員番号 	世帯員番号 	世帯員番号 	世帯員番号
別居の場合					
介護等 を必要 として いる人 から 見た 続柄	配偶者・パートナー	1	1	1	1
	子	2	2	2	2
	子の配偶者・パートナー	3	3	3	3
	孫	4	4	4	4
	父母	5	5	5	5
	兄弟姉妹	6	6	6	6
	他の親族 (続柄)	7	7	7	7
	事業者 (ホームヘルパー等)	8	8	8	8
	その他 (具体的に)	()	()	()	()
	介護等をしていない人	10			
性別	男	1	1	1	1
	女	2	2	2	2
	その他 (どちらともいえない・ わからない・答えたくない)	3	3	3	3

介護等をしている人はどなたですか。

実際に介護等をしている人全員について、同居の場合は【世帯員番号】を、別居の場合は【続柄】、【性別】をお答えください。

※世帯員番号は、3ページ目の上部にある番号です。

介護等をしている人			
主に行っている人 (1人目)	2人目	3人目	4人目
世帯員番号 	世帯員番号 	世帯員番号 	世帯員番号
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
()	()	()	()
8	8	8	8
9	9	9	9
()	()	()	()
10			
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3

介護等をしている人のうち、「同居」の方についてお聞します。

問26-6

介護等を始める前と比較して、学業や仕事、収入への影響はありますか。(○はいくつでも)

※ の中には、3ページ目上部の世帯員番号を記入してください。

※問26-5において、複数の世帯員の介護等をしている人も、この設問では1つの欄に回答を記入してください。

			介護等をしている同居人			
			世帯員番号 	世帯員番号 	世帯員番号 	世帯員番号
現在、 介護等 による 影響あり	学業	休学中	1	1	1	1
		退学	2	2	2	2
		進学断念	3	3	3	3
	仕事	同一職場内での 勤務形態の変更	4	4	4	4
		転職	5	5	5	5
		休職中	6	6	6	6
		離職中	7	7	7	7
	収入の減少	就職断念	8	8	8	8
		収入の減少	9	9	9	9
		その他(具体的に)	10	10	10	10
			()	()	()	()
過去に影響を受けたが、 現在ほとんど影響はない			11	11	11	11
ほとんど影響はない			12	12	12	12

ご協力ありがとうございました。

秘

総務省届出済

東京都指定統計調査第4号

調査番号					No.

「令和8年度東京都福祉保健基礎調査」

調査票②

＜この調査票をご回答いただく方＞

令和8年9月1日現在、満18歳以上の世帯員の方

※お一人につき1冊ご記入ください。

＜調査期間＞

令和8年9月1日(火曜日)から同年9月30日(水曜日)まで

※ 郵送回答の方は、締切当日（令和8年9月30日（水曜日））までに、
ポストに投函してください。

＜調査実施機関＞

東京都福祉局 総務部 総務課 統計調査担当

＜調査期間中のお問合せ先＞

※ 本調査は、東京都が、株式会社サ－ベイリサーチセンターに委託して実施
しています。

受託会社名：株式会社サ－ベイリサーチセンター

電話 0800-222-8744

電話受付時間は、平日午前9時から午後6時までです。

メール fukushi2026@surece.co.jp



東京都

1 ご回答いただく方

○ できる限り、ご本人がご記入ください。

○ ご本人が文章を読むことや書くことが難しい場合は、大変お手数ですが、ご家族や介護されている方などが読み上げたり、代筆していただくなど、ご協力いただければ幸いです。

2 回答方法

○ 令和8年9月1日現在の状況をご回答ください。

○ 鉛筆または黒のボールペンで記入してください。

○ **問**：特に断りがない限り、**全ての方**がお答えください。

○ **問**：**問**で**特定の回答をした方のみ**、矢印に従って回答してください。

○ 「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を（ ）内に記入してください。

○ 以下のとおり、太枠内のあてはまる番号に○を付けて回答してください。

例1：あなたの性別を教えてください。

1	男
2	女
3	その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

番号の背景が白い場合は、あてはまるものに1つだけ○を付けてください。

例2：同居している人を教えてください。

1	配偶者
2	子供
3	兄弟姉妹

番号の背景に色がついている場合は、あてはまるもの全てに○を付けてください。

例3：悩みごとはありますか？

1	病気	1	病気
2	仕事	2	仕事
3	人間関係	3	人間関係
4	ない	4	ない

白と色つきの両方の背景がある場合は、どちらか一方に○を付けてください。
白を選んだ場合は、○は1つだけ、色つきを選んだ場合は、あてはまるもの全てに○を付けてください。

基本事項

あなたの性別・年齢（令和8年9月1日現在）を教えてください。

性別		年齢
1	男	歳
2	女	
3	その他 (どちらともいえない・わからない・答えない)	

外出時の状況などについて

問1 次の①から⑧までの全ての質問に、お答えください。(○はそれぞれ1つずつ)
※ 令和8年9月1日現在の状況をお答えください。

	はい	いいえ
① あなたは、視覚に何らかの障害があるために、外出の際、視覚障害者用の杖などを利用したり、介助者を必要とすることがありますか。	1	2
② あなたは、聴覚に何らかの障害があるために、外出の際、補聴器などを利用したり、介助者を必要とすることがありますか。	1	2
③ あなたは、肢体(※)に何らかの障害があるために、外出の際、車椅子や杖、歩行器、義肢などを利用したり、介助者を必要とすることがありますか。 ※肢体とは、上肢(手と腕)や下肢(足と脚)、体幹や骨柱(胴体と背骨)を指します。	1	2
④ あなたは、体の内部に何らかの障害があるために、外出の際、医療機器(ペースメーカーや携帯用ポンプなど)や車椅子、杖などを利用したり、介助者を必要とすることがありますか。	1	2
⑤ あなたは、上記①～④以外の何らかの障害があるために、外出の際、何らかの機器や用具を利用したり、介助者を必要とすることがありますか。	1	2
⑥ あなたは、何らかの理由があるために、外出の際、周囲の支援や理解を必要とすることがありますか。	1	2
⑦ あなたは現在、乳幼児を連れて外出することがありますか。	1	2
⑧ 《女性のみにお聞きます。》 あなたは現在、妊娠していますか。	1	2

問2

あなたの外出頻度はどのくらいですか。(○は1つだけ)
※ 過去1年間の、おおよその外出頻度をお答えください。

1	ほぼ毎日
2	週4日程度
3	週2～3日程度
4	週1日程度
5	月1日程度
6	ほとんど外出しなかった

まちの中での体験などについて

問 3

あなたは、過去1年間に、外出の際、高齢者・障害者・妊産婦・乳幼児連れなどが困っているのを見かけたことはありませんか。(○は1つだけ)

ある	ない
1	2

問4 (次のページ)へ

問3-1

そのとき、あなたはどのようにしましたか。
(○は最も近いもの1つだけ)

1	積極的に自ら手助けをした
2	相手から求められて手助けをした
3	話しかけたり、声をかけたりしたが、手助けまで至らなかった
4	何もしなかった
5	その他 ()

問3-1-1

どのような手助けをしましたか。
(○はいくつでも)

1	荷物を持った
2	横断歩道や通行しにくい道路で誘導したり、手を引いた
3	階段の昇り降りときに手を貸した
4	電車、バスの乗り降りのときに手を貸した
5	車椅子やベビーカーを押したり、持ち上げたりするのを手伝った
6	乗り物などで席を譲った
7	道を教えた
8	扉を開けた
9	困っている人の家族などに連絡をした
10	その他 ()

問3-1-2

「何もしなかった」理由は何か。
(○はいくつでも)

1	忙しかった、急いでいた
2	自分も困っていて、他の人を手助けできる状況ではなかった
3	照れや恥ずかしい気持ちがあった
4	他の人が手助けをしようと思った
5	手助けの方法がわからなかった
6	自分一人では無理だと思った
7	手助けをしてよいものかどうかわからなかった
8	手助けをしたくなかった
9	その他 ()

東京都では、援助を必要としている人のためのマークとして「ヘルプマーク」を作成し、利用を希望する人に配布するとともに、「ヘルプカード」の標準様式を作成し、区市町村に導入の推進を図っています。

「ヘルプマーク」とは…

援助や配慮を必要とすることが外見からはわからない方々（義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など）が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせて援助を仰ぐやすくするためのマーク



「ヘルプカード」とは…

障害者などが緊急連絡先や必要な支援内容などを記載して携帯し、災害時や日常生活の中で困ったときに提示することにより、周囲に自己の障害への理解や支援を求めるためのカード



問 4

あなたは、「ヘルプマーク」を身に着けている人を見たことがありますか。(○は1つだけ)

ある	ない
1	2

問5へ

問4-1

そのとき、あなたはどのようにしましたか。(○は最も近いもの1つだけ)

1	実際に手助けをした
2	手助けの方法がわからず、何もできなかった
3	手助けが必要かどうかわからず、何もできなかった
4	手助けを必要としていなかったため、何もしなかった
5	自分が声をかける必要はないと思った
6	その他 ()

問 5

「ヘルプカード」を提示されたことがありますか。(○は1つだけ)

ある	ない
1	2

問6 (次のページ)へ

問5-1

ヘルプカードを提示された際、どのような行動をとりましたか。
(○は最も近いもの1つだけ)

1	実際に手助けをした
2	提示されたが、手助けできなかった

問6

あなたは、過去1年間に、外出の際、誰かの手助けを必要と感じたことはありませんか。
(○は1つだけ)

ある	ない
1	2

問7 (次のページ)へ

問6-1

どのような手助けが必要でしたか。

(○はいくつでも)

1	荷物を持つのを手伝ってほしかった
2	横断歩道や通行しにくい道路で、誘導したり、手を引いたりしてほしかった
3	階段の昇り降りのときに手助けがほしかった
4	電車、バスの乗り降りのときに手助けがほしかった
5	車椅子やベビーカーを押したり、持ち上げたりしてほしかった
6	乗り物などで席を譲ってほしかった
7	道を教えてほしかった
8	扉を開けてほしかった
9	自分の家族などに連絡してほしかった
10	その他()

現在の東京のまちの印象について

東京都では、「東京都福祉のまちづくり条例」(※1)を制定し、高齢者、障害者を含めた全ての人が安全、安心、快適に暮らし、訪れることができるまちづくりを推進しています。
特に、東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、福祉のまちづくりの進展に向け、当事者参画を踏まえた気運醸成や施設整備、さらに、大会後のレガシーとなり得る情報バリアフリーや心のバリアフリーの取組を進めてきました。

問7

現在の東京のまちにおける建物、道路、駅、電車などの施設や設備のバリアフリー(※2)化の状況について、どのような印象をお持ちですか。(○は最も近いもの1つだけ)

1	進んでいる	問7-1 (次のページ)へ
2	やや進んでいる	
3	あまり進んでいない	問8 (9ページ)へ
4	進んでいない	
5	その他()	

※1 「東京都福祉のまちづくり条例」とは…

東京都は、福祉のまちづくりの一環の推進を図るため、平成7年3月に「東京都福祉のまちづくり条例」を制定し、バリアフリー化を進めてきました。平成21年3月には条例を改正し、高齢者や障害者などを含めた全ての人が安全、安心、快適に暮らし、訪れることができるユニバーサルシティ(P9参照)の理念に基づいたまちづくりの表現を目指しています。

※2 「バリアフリー」とは…

高齢者や障害者などが日常生活や社会生活を送る上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、觀念、その他一切の社会的障壁(バリア)をなくすことです。

《問7で「1 進んでいる」「2 やや進んでいる」を選んだ方にお聞きします。》

問7-1 どのような点でバリアフリー化が進んだと思いますか。(Oはいくつでも)

《 異事例 》	
1	公共交通施設や公共交通機関の整備 ・駅のエレベーター設置 ・ホームドアの整備 ・ノンステップバス等の整備
2	建物内の整備 ・出入口等の幅の確保 ・スロープの設置
3	道路の整備 ・車道と歩道の分離 ・歩道の幅を広げる ・歩道の段差を少なくする ・歩道の勾配を緩やかに改善
4	公園、河川の整備 ・園路等の段差解消 ・ベンチやトイレ設置 ・車椅子使用者等が使いやすいトイレの整備やトイレの洋式化 ・スロープ等による段差解消 ・エレベーターの整備
5	学校施設の整備 ・バリアフリー基本構想等の策定 ・駅から公共施設など連続的な整備
6	建物、道路、公園、公共交通施設などの連続的、一体的、計画的な整備 ・車椅子使用者向け住宅の整備 ・住宅への手すりの設置など
7	高齢者や障害者が住みやすい住宅の整備 ・点字、音声による刊行物の配布 ・手話通訳者の配置
8	高齢者や障害者の社会参加を支える仕組みづくり ・ヘルプマークやヘルプカード（P5参照）の推進 ・避難誘導、案内標示の整備 ・避難場所の確保 ・食料など必需品の準備
9	災害時における要配慮者の安全対策 ・案内標示等の設置 ・音声や携帯電話を利用した情報提供
10	わかりやすく利用しやすい情報提供の充実 ・音声やテキスト変換する透明ディスプレイ等のユニバーサルコミュニケーション機器の整備
11	デジタル技術を活用したコミュニケーションの進展 ・車椅子使用者等が使いやすいトイレや駐車スペース等の適正利用等を目的としたバリエーションの作成 ・障害者等の理解推進を目的としたシンポジウムの実施 ・福祉のまちづくり功労者の表彰制度など ・キャンペーンの実施、ホームページや SNS を活用した広報等
12	「福祉のまちづくり」の普及啓発の充実
13	当事者の意見を反映するための仕組みづくり ・都民、事業者、行政による情報交換の場の設定
14	児童、生徒へのユニバーサルデザイン教育 ・高齢者や障害者等と交流しながらの体験 ・高齢者や障害者等の支援方法、コミュニケーション方法の学習 ・障害者スポーツを通じた理解等
15	地域住民を対象としたユニバーサルデザインに関する学習機会の提供 ・まち歩き点検によるバリアフリーマップの作成等
16	地域のユニバーサルデザインに関する取組を主体的に担う人材の養成 ・地域住民向けのまち歩きやワークショップの講師を担当する人材（福祉のまちづくりサポーター）の養成等
17	店舗等における接遇の向上 ・店舗等において、従業員が障害持やそれに応じた配慮の方法を理解し、接客するようになった ・車椅子使用者等が使いやすいトイレや駐車スペース等の整備
18	民間事業者によるバリアフリー化の取組 ・高齢者や障害者等が働きやすい職場の環境整備 ・バリアフリー設備情報のホームページでの発信等
19	その他（ ）

8

ユニバーサルデザインについて

問8 「ユニバーサルデザイン」という言葉や意味について知っていますか。
(Oは1つだけ)

1	以前から言葉も意味も知っていた
2	言葉は知っていたが、意味は今回初めて知った
3	言葉も意味も、今回初めて知った
4	その他（ ）

ユニバーサルデザインとは…

年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、はじめからできるだけ多くの人が利用可能なように都市や生活環境をデザインすることです。その対象はハード（都市施設や製品など）からソフト（教育や情報、サービスなど）に至るまで多岐にわたっています。

◆ ユニバーサルデザインの具体的な事例

・床が低く、高齢者や子供でも乗り降りしやすく、また、スロープをかければ車椅子使用者も容易に利用できるノンステップバス
・点字や音声案内、外国語での表記や色違いに配慮するなど、誰にでもわかりやすい案内サイン

◆ 東京都におけるユニバーサルデザインの5原則

- ・公平（誰もが同じように施設や設備を利用できる。）
- ・簡単（利用者の知識や能力、状況に関係なく容易に施設や設備を利用できる。）
- ・安全（特別な注意を払わなくても危険なく施設や設備を利用できる。）
- ・機能（使い勝手よく施設や設備を利用できる。）
- ・快適（気持ちよく施設や設備を利用できる。）

問9 ポータルサイト「どうきようユニバーサルデザインナビ」を知っていますか。
また、閲覧したことがありますか。(Oは1つだけ)

1	知っており、閲覧したことがある
2	知っているが、閲覧したことがない
3	知らない
4	その他（ ）

どうきようユニバーサルデザインナビとは…

どうきようユニバーサルデザインナビ（略称UDナビ）は、高齢者や障害者を含めた全ての人が、外出時に必要な情報を容易に入手できるよう、都内の施設や交通機関等に関するユニバーサルデザイン情報及びバリアフリー情報を集約したポータルサイトです。
ナビートや公園等スポット別、鉄道やバス等交通手段別、地図や区市町村名から探す場所別などにより、施設や事業者のホームページの情報を簡単に検索することができます。



https://www.udnavi.tokyo/

9